

座間市野球協会理事会決定事項等

平成30年2月10日 現在

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 競技運営に関する理事会決定事項 | (平成30年 2月10日 改定) |
| (2) 社会人クラス別規程 | (平成28年12月17日 改定) |
| (3) 試合時間及び大会協力員について | (平成27年 3月14日 改定) |
| (4) 座間市野球協会登録票 | (平成30年 2月10日 改定) |

＊＊ 座間市野球協会への連絡について ＊＊

連絡先	理事長 森田敬真
自宅住所	〒252-0027 座間市座間2丁目2952番地
電 話	046(251)2554
メールアドレス	h-r_msr5@jcom.home.ne.jp
携帯電話	090-5796-2473
携帯アドレス	mariana-5971-keitai-hirochika@docomo.ne.jp

(1) 競技運営に関する理事会決定事項

平成30年2月10日 改定

1. 競技運営に関する注意事項

- (1) 代表者会議で説明又は決められた事項は、チーム全員に徹底させること。
- (2) チームが棄権する場合の処置
 - ア 試合当日の朝までに球場に連絡すること。
 - イ 棄権する場合でも必ず大会協力員は参加すること。
 - ウ 試合予定の当日が雨天等で試合が中止となった場合は、棄権を取り消し、次回試合予定（ホームページ、ブログ及びテレホンサービスで確認する）の再出場を認める。したがって、再度棄権する場合は前回と同じ棄権する手続きを取ることとする。
 - エ 対戦相手チームは試合当日グラウンドにおいて審判員の勝利宣告を得て不戦勝とする。この処置を受けない場合は前項のイ～エと同様とする。
 - オ 以上の棄権に対する義務を怠った場合は、1年間の出場停止とする。
- (3) 協会主催の公式戦の大会協力員は、別に定める「試合時間及び大会協力員について」を遵守すること。
 - ア 登録票（名簿）の中にスコアラーを記入すること。
 - イ スコアラーは選手兼任でもよい。
 - ウ 協会主催でスコアブックの記録講習会は開催しないので、各チームの責任において習得すること。
- (4) ユニホーム（帽子・アンダーシャツ・ストッキング等）は同一同色のものを着用すること。（全日本軟式野球連盟：競技者必携参照）
- (5) 試合中の禁煙について
 - ア 協会役員、審判員、選手及び監督等は試合中、球場内では一切禁煙とする。
 - イ 喫煙は指定の場所で行うこと。
 - ウ チーム責任者は、特に応援者について協力を得ること。
- (6) 試合開始時間は、両チームの礼、終了時間は、球審のゲームセットのコールとする。
- (7) 試合中の事故について
協会としてはケガの応急手当てができる程度の準備はしますが、その他は、責任は持ちません。チーム及び選手個々で事故のないように準備体操等の健康管理を行ってください。出場選手はできるだけ保険証を持参するよう心がけてください。（チームとして団体スポーツ保険の加入を希望します）
- (8) 放棄試合は理由の如何を問わず許さない。

2. 協会理事は大会期間中、できるだけ会場に出向き大会運営に協力すること。

3. クラス別及び外部大会出場チーム選出方法

原則として、別紙のクラス別規程並びに外部大会出場チームに基づき行いますが、変更等が必要な場合は、協会の常任理事会で協議し、決定及び推薦とします。

4. 外部大会に出場した派遣チームは試合結果等を協会に報告すること。

5. その他については、公益財団法人 全日本軟式野球連盟「競技者必携」並びに公認「野球規則」の競技運営に関する注意事項によること。

(2) 社会人クラス別規程

平成28年12月17日 改定

【春季大会】

Aクラス	4チーム リーグ戦	※前年秋季大会 1位～4位チーム
Bクラス	5チーム リーグ戦	※前年秋季大会 Aクラス 5位 ※前年秋季大会 Bクラス 1位～4位チーム
Cクラス	トーナメント戦	※前年秋季大会 Bクラス5位以下全チーム ※前年秋季大会 Cクラス全チーム ※新規加入登録チーム
壮年クラス	トーナメント戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム
還暦クラス	リーグ戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム
古希クラス	2回戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム

【秋季大会】

Aクラス	5チーム リーグ戦	※春季大会 全チーム ※春季大会 Bクラス 1位チーム
Bクラス	16チーム トーナメント戦	※春季大会 Bクラス 2位～5位チーム (4チームはシード権) ※春季大会 Cクラス 上位4チーム ※春季大会 Cクラス 上位8チームを選考
Cクラス	トーナメント戦	※春季大会 Cクラス 下位全チーム ※新規加入登録チーム
壮年クラス	トーナメント戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム
還暦クラス	リーグ戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム
古希クラス	2回戦	※加入登録チーム ※新規加入登録チーム

(3) 試合時間及び大会協力員について

平成27年3月14日 改定

1. 試合開始時間

第一試合 8:00 ~ 9:30

第二試合 9:40 ~ 11:10

第三試合 11:20 ~ 12:50

第四試合 13:00 ~ 14:30

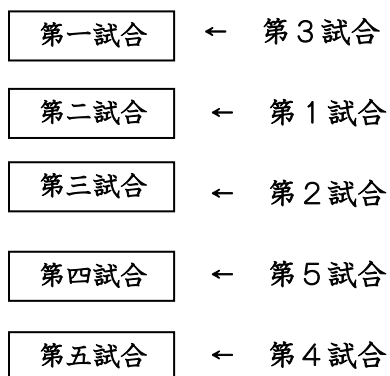
第五試合 14:40 ~ 16:10

第六試合 16:20 ~ 17:50

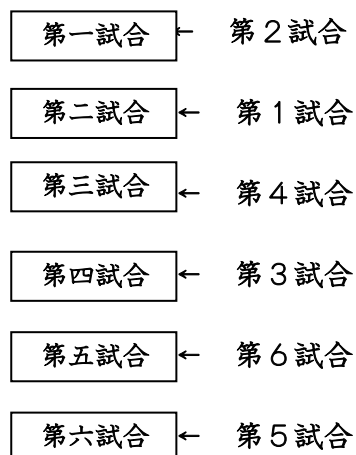
- * 試合の進行状況により、次の試合開始時間を早める場合がありますので、各チームは試合開始時間の30分前に必ず球場に集合してください。
- * 試合当日のベンチ入り選手は、各チーム10人以上でないと試合はできません。
- * 協力員は試合当日の一塁側ベンチ入りのチームは、本部ブースでスコアの記載及びB・S・Oの点灯表示を担当します。
- * 協力員は試合当日の三塁側ベンチ入りのチームは、スコアボードの点数表示を担当します。なお、点数が入り次第ボードに表示するとともに、合計点も表示すること。

2. 大会協力員

5試合の場合



6試合の場合



- * 大会協力員は試合開始時間の30分前に必ず本部に集合してください。

平成30年度

神奈川県野球連盟登録票 (座間支部)

平成30年 月 日 提出

チーム名	印鑑は必ず、押印して下さい。	登録人員 名	クラス	A · B · C · 壮 · 還 · 古
代表者名	電話	連絡員	連絡員: 氏名・住所 電話(携帯)・メールアドレス	協会の連絡事項等の伝達ができる方。必ず記入のこと。
チーム所在地	(〒 -) 座間市	選手名簿は、背番号順に記載すること。		

選手名簿													
No.	位置	背番号	氏名	年齢	職業	住所	No.	位置	背番号	氏名	年齢	職業	住所
1	監督	30					16						
2	主将	10					17						
3							18						
4							19						
5							20						
6							21						
7							22						
8							23						
9							24						
10							25						
11							26						
12							27						
13							28						
14							29						
15							30						

チーム所在地として、市内限定の住所を記入すること。

氏名は、フルネームで記入のこと。(振り仮名も含む)

年齢は、登録時点で記入のこと。

背番号は、監督30・主将10とし、以下については、番号の若い順に記入のこと。なお、背番号は0~99までとすること。(ただし還暦・古希チームは除く)

位置は、投手・捕手・内野・外野で記入のこと。

必ず、提出して下さい。

注意事項

- * 会社、事業所等のチーム所在地や選手の住所は、会社、事業所等の住所とすること。
- * 外部大会へ出場する場合は、登録票に登録されている選手に限ります。
- * 変更する場合は、春・秋季大会のそれぞれ、最初の試合までは変更可能です。なお、変更する場合は、提出日の余白に「変更」と明記し、再度、3部提出すること。(変更の場合も登録票を提出する。いままでの変更用紙は廃止する。)

マネージャー	※ この登録票に記載されている個人情報、協会運営に限り、使用します。	理事サイン
スコアラ	※ この登録票に記載されていない者は試合中ベンチに入ることはできない。	
スコアラ	※ この登録票の提出は、原本1部、写しを2部合計3部を協会に提出するものとする。	

平成30年度

神奈川県野球連盟登録票(座間支部)

平成30年 月 日 提出

チーム名		登録人員	名	クラス	A ・ B ・ C ・ 壮 ・ 還 ・ 古
代表者名	電話	連絡員	連絡員:氏名・住所 電話(携帯)・メールアドレス		
チーム所在地	(〒 -) 座間市	選手名簿は、背番号順に記載すること。			

選 手 名 簿

No.	位置	背番号	氏名	年齢	職業	住 所	No.	位置	背番号	氏名	年齢	職業	住 所
1	監督	30					16						
2	主将	10					17						
3							18						
4							19						
5							20						
6							21						
7							22						
8							23						
9							24						
10							25						
11							26						
12							27						
13							28						
14							29						
15							30						

マネージャー	※ この登録票に記載されている個人情報は、協会運営に限り、使用します。	理事サイン
スコアラー	※ この登録票に記載されていない者は試合中ベンチに入ることはできない。	
スコアラー	※ この登録票の提出は、原本1部、写しを2部合計3部を協会に提出するものとする。	

(5) 座間市野球協会からの注意事項

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) ユニフォーム等について | 平成28年12月2日 一部改定 |
| (2) タイム等の回数制限について | 2017 (平成29年) |
| (3) 試合中の禁止事項について | 2017 (平成29年) |
| (4) 競技者のマナーについて | 2017 (平成29年) |

(1) ユニフォーム等について

公益財団法人 全日本軟式野球連盟規程細則（抜粋）

(用具、装具等)

第12条

第5項 ユニフォーム、スパイク等は、次に定めるものを着用しなければならない。

- 1 同一チームの監督、コーチ選手は、同色、同形、同意匠のユニフォームでなければならない。
- 2 袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による都道府県名を必ずつけなければならない。また、他のものをつけてはならない。なお、右袖には、社章、商章、クラブのマスコット等を着けることは差支えない。
- 3 背番号は0番から99番までとし、参加申込書に記載されている選手は全員必ずつけなければならない。
- 4 すべての登録チームで、背番号は、監督30番、主将10番、コーチは29番、28番とする。
- 5 胸のチーム名は日本字またはローマ字で表示し、チーム名の代わりにマークをつけることができる。ただし、統一しなければならない。
- 6 背番号の規格は、最小限15.2センチ以上。最大限、長さ21センチ、幅16センチ、太さ4センチ以内とする。
- 7 ユニフォームの背中に選手名をつける場合は、全員が背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合は、名の頭文字を入れてもよい。
- 8 学童部は、金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。
- 9 アンダーシャツは全員同色のものでなければならない。
- 10 帽子は、全員同色、同形、同意匠のもの。また、ストッキングは全員同色のものでなければならない。

(2) タイム等の回数制限について

公益財団法人 全日本軟式野球連盟 競技者必携2017

(競技運営に関する注意事項 抜粋)

9 監督またはコーチ等が投手の所へ行く回数の制限

(1) 監督またはコーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレイク方式を含む)は、2イニングに1回行くことができる。

(2) 監督またはコーチ等が、同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手の所へ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。

連盟では交代した投手が、他の守備位置につくことが許される。この場合は、同一イニングには再び投手に戻れない。(規則5.100)

(3) 少年部・学童部は監督に限る。

10 守備側のタイムの回数制限

(1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、3回以内とする。なお、延長戦(タイブレイク方式を含む)となった場合は、2イニングに1回行くことができる。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチ等が行けば、双方1回として数える。(逆の場合も同様とする)投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。

(2) 監督またはコーチ等がプレーヤーとして出場している場合は、投手の所へ野手としての1度と数えるが、協議があまり長引けば、監督またはコーチ等が投手の所へ1度行ったこととし通告する。

11 攻撃側のタイムの回数制限

攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦(タイブレイク方式を含む)となった場合は、2イニングに1回とする。

12 タイムは、1分以内を限度とする。

(3) 試合中の禁止事項について

公益財団法人 全日本軟式野球連盟 競技者必携2017 (抜粋)

- 1 トラブルの際、審判員や相手側プレーヤーに手をかけることを厳禁する。万一このような事態が生じたときには、退場を命ずる。なお、各支部の行うすべての大会を含めて、試合に関連して暴力行為を行った選手とそのチームに対して、試合に関連して現実に暴力行為を行った者に対して、その年度の出場を停止するとともに、所属チームにも何らかのペナルティを課すこととする。このペナルティを最低として処理する。
- 2 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。また、スタンドからの応援団の野次及び目に余る行為はチームの責任とする。
- 3 競技場内（ベンチを含む）では、喫煙およびガム等を噛むことを禁止する。
- 4 マスコットバットを次打者席に持ち込むことは差し支えないが、プレイの状況に注意し、適切な処置をすること。なお、競技場での素振り用パイプ及びリングの使用を禁止する。
- 5 投手が手首にリストバンド、サポーターなどを使用することを禁止する。なお、負傷で手首に包帯等を巻く必要があるときは、大会本部等の承認が必要である。
- 6 危険防止のため、足を高くあげてのスライディング等を厳禁する。現実にこれが妨害となったと審判員が認めた場合は、守備妨害で走者をアウトにする。
- 7 作為的な空タグを禁止する。現実に妨害（よろめいたり、著しく速度が鈍った場合）になったと審判員が認めた場合は、オブストラクションを適用する。
- 8 プレーヤーが塁上に腰を下ろすことを禁止する。
- 9 守備側からのタイムで試合が停止されたとき、その間投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
- 10 試合が開始されたら、控えの選手は試合に出場する準備（交代選手のキャッチボール）をしている者の他は、ベンチ内にいなければならない。ただし、攻守交代時に限り、控え選手がファウルグラウンドで外野の方向へランニングすることを認める。

11 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。低い姿勢で待つこと。投手も必ず次打者席に入ること。(規則5. 10k【注1】)

12 塁上の走者、あるいはコーチボックスやベンチから守備側(捕手)のサインを盗み、それを打者に伝達することを禁止する。

(4) 競技者のマナーについて

公益財団法人 全日本軟式野球連盟 競技者必携2017 (抜粋)

マナーアップとフェアプレイの両面から、次のような行為を禁止する。

- 1 捕手が投球を受けたときに意図的にボールをストライクに見せようとミットを動かす行為。
- 2 捕手が自分でストライク・ボールを判定するかのように、球審がコールする前にすぐミットを動かして返球態勢に入る行為。
- 3 球審のボールの宣告にあたかも抗議するかのように、しばらくミットをその場においておく行為。
- 4 打者がヒジ当てを利用してのヒット・バイ・ピッチ (死球) 狙いの行為。
- 5 打者がインコースの投球を避ける動きをしながら当たりにゆく行為。
- 6 プレイ中みだりにベンチを出る行為。
- 7 野手が走者の視界を遮る行為。(規則6. 01h (2))
 - (1) 走者がタッグアップしているとき、野手が走者の前に立ち視界を遮る行為。
 - (2) 野手が走者の前に立ち、ボールを保持している投手板上の投手への視界を遮る行為。